

大分県の公務員薬剤師の業務紹介②

先輩職員からの声をお届けします！

福祉保健部 南部保健所 衛生課
山瀬 敬治



平成19年採用

食品衛生・食中毒予防等に携わっています。
(早朝の魚市場監視の様子)

◆大分県職員を志望した理由は？

「薬剤師の職能を生かして出身県の大分で働きたい！！」そのような気持ちで学生時代から大分県職員を志望しました。

大分県では本庁、県立病院、衛生環境研究センター(研究機関)及び各地に配置された9保健所(保健部)などで働くことができます。病院薬剤師のみならず、幅広い業務を経験できることに魅力を感じていました。

◆現在の仕事内容について

保健所の食品衛生・薬事班に所属し、主に食品衛生の担当となって、飲食店等の許可及び集団給食施設や大規模食品製造業者の監視指導、食品の検査、食中毒の予防啓発などの業務を行い、食の安全・安心を守る仕事をしています。

◆仕事のやりがい・魅力は？

これまで県立病院の薬剤師、保健所等では食品衛生関係業務、環境衛生関係業務を経験してきました。初めての分野での仕事は大変ですが、身につけたスキルは決して無駄にはなりません。経験に基づく様々な切り口から、細やかなアドバイスができることも公務員薬剤師のやりがいと思っています。

◆大分県を目指す人へのメッセージ

大分県には本庁・保健所以外にも県病や研究機関など、薬剤師の職能を活用できる環境が整っています。様々な仕事に挑戦し、県民の方々の安全・安心な暮らしを支える行政薬剤師になってみませんか。

ある1日のスケジュール

8:30

9:00

12:00

13:00

13:30

16:30

17:15

出勤、メール
チェック

食品検査(収去検査)の検体採取

昼食

食品製造施設への立入り監視

帰庁、
書類作成

退庁

みなさんも大分県庁の薬剤師として私たちと一緒に働きましょう!

(所属は30年度現在)